

観光振興ビジョンの中間点検について

令和 7 年度第 4 回ニセコ町観光審議会
2026年 3 月 ニセコ町





1 指標の見直しについて

2 中間点検のアウトプットについて



前回審議会でもいただいたご意見（抜粋）

【指標1】観光消費額

- ・連泊数が増えているのであれば、1人当たり単価は上がっているはず。
- ・少ないサンプルの結果を指標の計算に反映するのはどこか違和感を覚える。数字の取り方を含め、見直しすべきではないか。
- ・なかなか中長期的な物価上昇等を目標値に反映していくのは難しいと思うが、例えば日帰り単価がすでに目標値を達成しているのであれば、その部分は見直してもよいのではないか。

【指標3】観光客満足度

- ・「大変満足」という要素を名称に入れて語呂のいい指標名はなかなかないので、観光客満足度（尺度7段階のうち、最上位の割合）といった追記する形でいいのではないか。

【指標4】リピーター率

- ・リピーター率を下げるというのは、成熟した観光地においては、やはり違和感が拭えない。
- ・リピーター率を下げて、新陳代謝を図るといえるのは、コロナ禍ならではの議論だったと思うし、一般的にサービスに対する評価、満足がリピートにつながるのだから、リピーターを重視すべき。
- ・新規顧客を獲得したいという考えは理解できるが、他の指標を見たときに、リピーターの数は増える計算になるので、そうであれば数を増やしていくことも明記すべきではないか。

【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合

- ・「生活が豊かになる」といえるのは主観的な要素なので、域内調達率などに着目すべきでは。

観光振興ビジョンの 数値目標(KPI)

数値目標

令和元(2019)年度

令和10(2028)年度

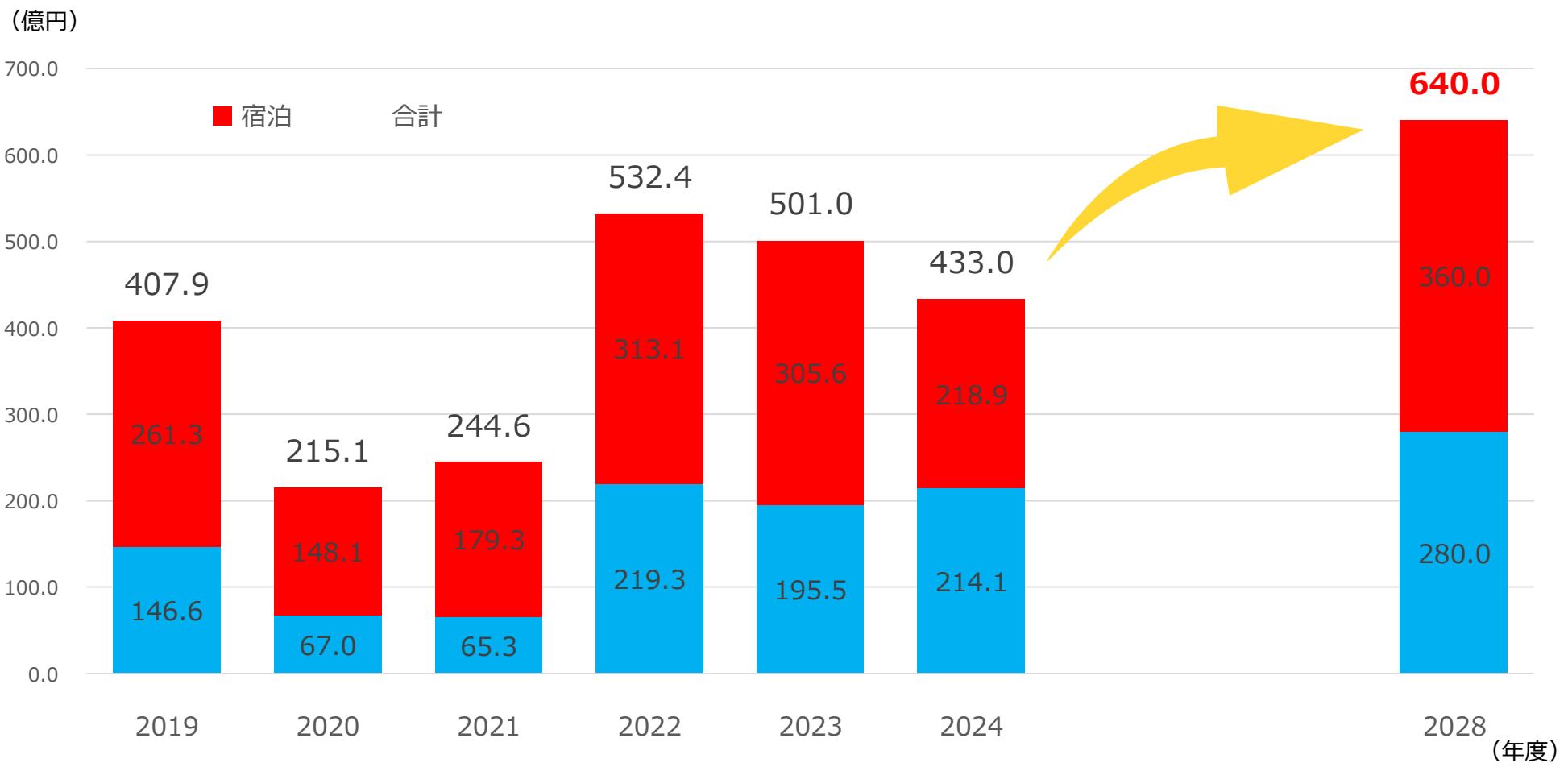
【指標1】 観光消費額	407.9億円	→	530.0億円
【指標2】 延べ宿泊者数	47.3万人	→	80.0万人
【指標3】 観光客満足度	21.3%	→	30.0%
【指標4】 リピーター率	80.9%	→	70.0%
【指標5】 宿泊客1人1泊当たり CO ₂ 排出量	27.3kg/人・泊	→	15.3kg/人・泊 ※44%削減
【指標6】 観光で生活が豊かになると 思う町民の割合	40.0%	→	60.0%



【指標1】観光消費額

- 前回審議会のご意見を踏まえ、**日帰りの目標単価をアップ**させるとともに、宿泊税を活用した各種施策の実施により、**宿泊の目標単価もアップ**させることとする。
- 今後指標1の資料を用いる際は**日帰り／宿泊別を示す形で掲載**することとする。

観光消費額



【指標1】観光消費額の内訳（参考）



		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
合計	消費額（億円）	407.9	215.1	244.6	532.4	501.0	433.0	640.0 (530.0)

日帰り	入込数（人）	1,418,882	731,701	768,320	1,026,498	1,187,607	1,296,154	1,400,000
	単価（円／人）	10,329	9,157	8,496	21,362	16,460	16,519	20,000 (15,000)
	消費額（億円）	146.6	67.0	65.3	219.3	195.5	214.1	280.0 (210.0)

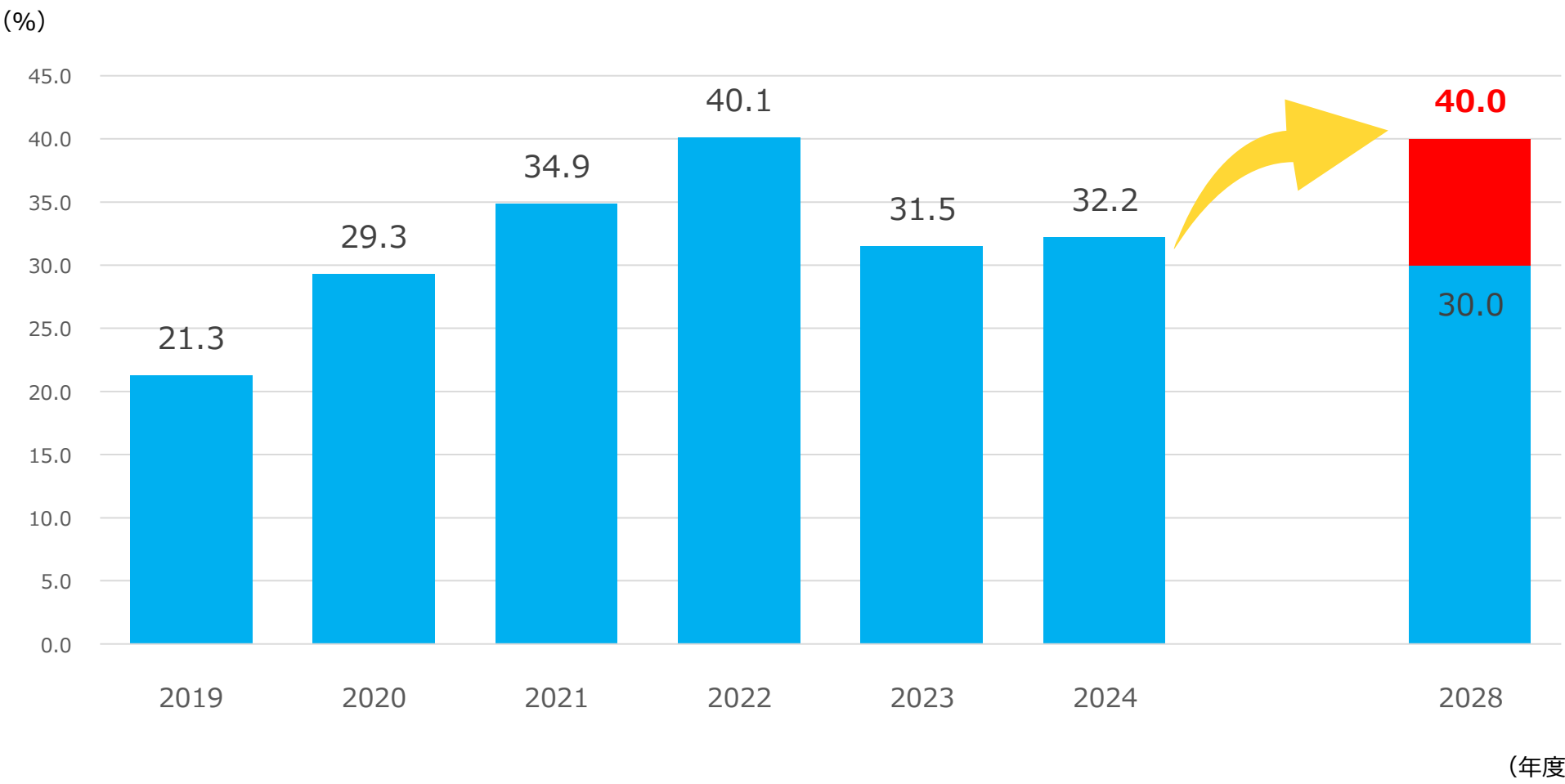
宿泊	入込数（人）	333,834	208,221	239,860	401,499	413,944	328,732	400,000
	単価（円／人）	78,282	71,143	74,772	77,979	73,816	66,584	90,000 (80,000)
	消費額（億円）	261.3	148.1	179.3	313.1	305.6	218.9	360.0 (320.0)

【指標3】観光客満足度（尺度7段階のうち最上位【大変満足】の割合）



- 前回審議会の意見を踏まえ、**名称を変更**。
- すでに2028年度目標を達成済みのため、**目標を上方修正**することとする。

観光客満足度（尺度7段階のうち最上位【大変満足】の割合）

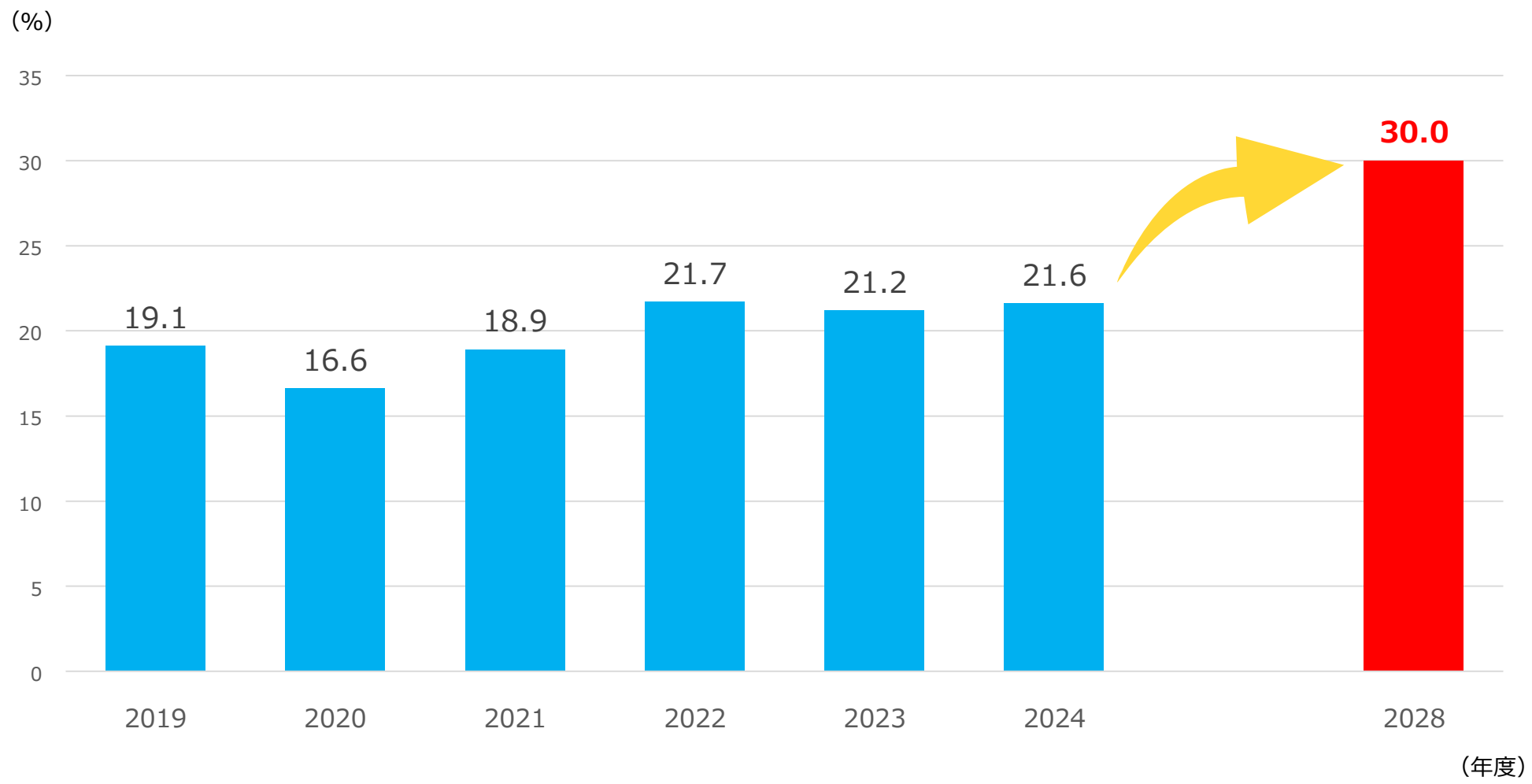




【指標4】新規来訪率

- 前回審議会でお示した通り、**指標の名称を変更。**
- 前回審議会の意見を踏まえ、**リピーター数は中間点検本文に記載。** (2019年度：38.3万人⇒2028年度：56.0万人)

新規来訪率 (仮)





数値目標

変更点

【指標1】 観光消費額

目標の上方修正

【指標2】 延べ宿泊者数

変更なし

【指標3】 観光客満足度

上方修正、名称変更

【指標4】 リピーター率

「新規来訪率」へ指標を変更

【指標5】 宿泊客1人1泊当たり
CO₂排出量

変更なし

【指標6】 観光で生活が豊かになると
思う町民の割合

変更なし

数値目標

令和元(2019)年度

令和10(2028)年度

【指標1】 観光消費額	407.9億円	→	640.0億円
【指標2】 延べ宿泊者数	47.3万人	→	80.0万人
【指標3】 観光客満足度 (尺度7段階のうちの最上位【大変満足】の割合)	21.3%	→	40.0%
【指標4】 新規来訪率	17.3%	→	30.0%
【指標5】 宿泊客1人1泊当たり CO ₂ 排出量	27.3kg/人・泊	→	15.3kg/人・泊 ※44%削減
【指標6】 観光で生活が豊かになると 思う町民の割合	40.0%	→	60.0%



1 指標の見直しについて

2 中間点検のアウトプットについて



中間点検のアウトプットについて

詳細は資料 2 参照

【前回審議会を踏まえたポイント】

- ・冒頭に観光振興ビジョンの将来像等を記載
- ・リピーター数を関連指標に設定
- ・観光による効果の見える化に関する記載を追加
→雇用に占める割合、飲食店数、地域経済循環率
- ・観光振興ビジョンに記載の役割分担もあらためて記載

⇒本日の審議会終了後、適宜修正の上、3月中旬に公表予定